

産建文教常任委員会

荒砥橋関連事業の推進

6月9日に委員会が開催され、荒砥橋の今後の予定などについて説明を受けた。

平成32年度完成、開通を望む

【荒砥橋の概要】

50年以上経過した老朽橋であり、幅が狭いため大型車同士のすれ違いが困難で、朝夕の渋滞の原因になっている。

【関連工事】

- ① 下水圧送管の移設
荒砥側橋台工事に伴い、既設の圧送管を移設する必要があるため、一部仮設による迂回工事を行う。
- ② 鮎貝中継ポンプ場移設
現在のポンプ場の場所が道路となるため、移設工事を行う。



橋脚の完成を待つ

町民の疑問



「なぜ中断に？」 気になる新荒砥橋工事

新荒砥橋は現在2つの橋脚が完成しています。水の少ない冬期間に工事を行うため、昨年の秋、さらに3つの橋脚に着手しました。しかし計画段階で判らなかつた軟弱地盤が明らかにあり、工事を中断し、より安全のために基礎部分の設計変更を行っているようです。

町は早期の完成を求める要望を県に提出しており、県では32年度の開通に向けて、工事計画の調整を行い、早期発注の準備をしているようです。

集落排水の公共下水道への統合

白鷹町都市計画下水道及び白鷹町下水道事業計画の変更について説明を受けた。

平成28年度策定の
下水道事業経営戦略の具体化

【計画の主な事業】

- ◇ 荒砥橋架け替えに伴う鮎貝中継ポンプ場及び管路の移設
- ◇ 施設長寿命化事業
- ◇ 浅立、西高玉農業集落排水事業の公共下水道への統合

質疑

処理場はどうなる

委員 農業集落排水の処理場は、今後どうなるのか。

当局 統合により、公共下水道に繋ぎ、すべて荒砥の終末処理場で処理することになる。農業集落排水の処理場は、今後、公共下水道の管に圧送する中継ポンプ場として使用する。



町民負担の軽減を望む！

- その他
- 荒砥駅前交流施設改修工事
 - 町駅伝大会のコース変更などについて説明があった。